

バス停留所に屋根とベンチの設置を

質問者 大 坪 国 広

町の高齢化率は、25年1月で約22%となった。今後、更に進む超高齢化社会に対応する為にも、人に優しいまちづくりの推進が重要な課題となっている。公共交通のバス利用者にとって突然の雨やバスを待つ時など、停留所に屋根とベンチがあれば、更に利便性が向上する。そこで、バス停を点検し、利用者が多く設置可能な所に、企業の広告・宣伝費も視野に入れ、計画的に屋根とベンチの設置を検討するべきと考えるが、所見を伺う。